

保幼小中一貫教育だより ～豊かな自然と豊かな人材で豊かな子どもを育てる～



豊能の風

発行：豊能町教育委員会 第30号 R2.9.15

子どもに着実に学習内容を身につけさせるために — 家庭でできる「学びのススメ」 —

豊能町の子どもたちの大きな課題として、家庭での学習の仕方や過ごし方があげられます。ここ数年のアンケート結果では、テレビやテレビゲーム、スマートホンを一日に3時間以上もしている児童生徒が増えており、中学生では一日に4～5時間もしている生徒が非常に多く見られます。さらに、家庭で30分以上勉強しない児童生徒は、全国平均を上回っています。

家庭学習の定着は、基礎学力を習得するだけでなく、主体性や自律性を伸ばします。また、毎日の積み重ねは、粘り強く物事に取り組む力や目標を持ってより豊かに生きる力を育むことにもつながっていきます。

「学校・家庭・地域」が連携し、子どもたちの家庭学習の習慣化を図るために作成したリーフレット『家庭でできる「学びのススメ」』を4月に小中学校の全家庭へ配布しました。再度お子さんと一緒にお読みになるなど、ぜひ、各ご家庭でご活用ください。

「学びのススメ」小学生版より

家庭での学習は、将来児童が社会人として自立するための基盤となる大切なものです。学校でも学習内容の定着、学習意欲の向上のため、学習課題を明確にし、「わかる・できる」授業実践のため日々努力しています。家庭・地域の方々と一緒に、より確かな力を養っていきましょう。

家庭学習の充実を図るとともに、子どもたちがよい習慣を身につけてほしいと思います。

【家庭学習の習慣（家庭学習のポイント）】

- 毎日必ず宿題をする。 → 家庭学習の習慣化
- 宿題後、「家庭学習の目安の時間」まで学習する。 → 家庭学習の習慣化
- テレビやゲーム、スマホやインターネットを見ながら学習をしない。 → 集中力の向上
(使用するときの目安—例えば1日1時間等しっかりルールを決める)
- 机の上をきれいにし姿勢をよくして行う。 → 学習の効率化
- 学習が終わったら、次の日の準備をする。 → 忘れ物の防止

【家庭学習の時間の目安】

学年×10分（例えば6年生なら6×10=60分）



「学びのススメ」中学生版より

【めざす子どもの姿】

中学卒業後の進路をしっかりと踏まえ、基礎的・基本的な学習を計画的・継続的に身に付ける。

学習時間の目安

- 1年生 60分～70分以上
- 2年生 70分～80分以上
- 3年生 80分～90分以上



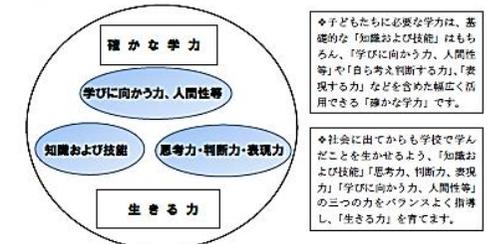
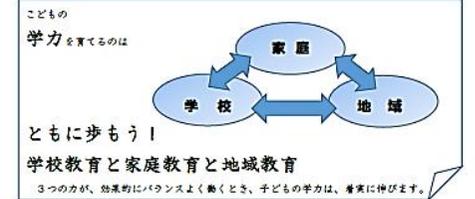
【充実した学習をするために】

- その日の復習、明日の予習、テストに向けての学習を計画的・継続的に
 - 規則正しい生活リズムで、学習時間の確保を
 - 集中してできる学習環境、心の落ち着く人間関係づくりを
- ～継続は力なり、夢をかなえる礎なり！～

子どもに着実に学習内容を身につけさせるために

家庭でできる「学びのススメ」

このリーフレットは、学校、家庭、地域が連携し、みんなで寄り添いながら、児童一人ひとりの力を伸ばすためのものです。その第一歩として、家庭学習の継続と習慣化のために、是非、各家庭においてもご活用ください。



豊能町教育委員会

『家庭でできる「学びのススメ」』は、豊能町ホームページに掲載しています。
<http://www.town.toyono.osaka.jp/page/dir000012.html>

「とよの未来科」創設にむけて

第4回 ふるさと♡とよの【里山の風景 棚田～吉川編～】

第3回に引き続き棚田を取り上げます。

妙見口駅から高台寺の参道を登っていくと、今は休耕田となり荒れてしまった棚田跡が見えてきます。

さらに先に進むと、今度はきれいに整備された土地が姿を現します。ここは、放置された棚田の景観を取り戻そうと2004年から、「妙見里山倶楽部」の「棚田班」の方々が整備されたそうです。今は、野菜や果物が栽培され、四季折々の花が楽しめます。

この日活動をしていた方にインタビューすると「ここは獣の被害がすごいです。農業というより、景観の維持が目的です。ここからの景色はやっぱりいいですよ。」と話されていました。

子どもたちが「地域を学び、地域を通して自分の生き方について考える」機会を多く設定していきたいと考えています。

(妙見里山クラブ棚田班の活動の様子 <http://hokusetu3720.fc2web.com/>)

